NIE実践報告

1．タイトル：☆注目のバンクーバーオリンピックから考える

2．学校名

北海道札幌市立稲積中学校

3．実践者名（代表者名）

森長　賢一

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　150人

6．単元（本時の学習課題）名

「感想を明確に」(新聞の比較対象記事から自分の意見を持つ)

7．目標（狙い）

新聞記事にあるさまざまな意見を読み、考えたことを文章に書き、意見を交換する。

8．評価の視点

自分の考えを明らかにして分かりやすく書き、発表できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「感想を明確に」(教育出版)　2時間
「話し合い方入門」　1時間　　合計3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)教科書「感想を明確に」を読み、感想を明確に書くことの留意点を知る。(0.5時間)
(2)アンケート調査用紙に記入する。(0.5時間)
(3)新聞記事を読み、自分の意見を書く。
(4)教科書「話し合い方入門」を読み、効果的な話し合いの仕方を知る。(0.5時間)
(5)意見文をもとに、学級で話し合いをする。(0.5時間)
(留意点)
・新聞記事にある様々な意見を読み、それを参考にして自分の意見と似ているものだけでなく、異なる意見もしっかりと読み取る。
・自分の考えをまとめ、わかりやすく発表する工夫をさせる。
・他の人の意見を聞いて自分の意見を確かなものにしたり、変更したりする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

オリンピックについてはテレビで見た生徒がほとんどだが、新聞記事を読む前と後で意見が変わった生徒もおり、もっと新聞を読んでみたいという生徒の反応もあった。

12．成果と課題

オリンピックという関心の高い話題だったので、興味・関心は高かった。新聞に多様な意見が載っていることを知り、これからも読んでみたいという反応があった。マスコミ報道の過熱に注目した生徒もおり、意見を持ち、まとめることはある程度できたが、意見交換を活発にすることはできなかったことが今後の課題である。